

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和6年2月末現在
男 15,369人
女 15,266人
総人口 30,635人
世帯数 13,422世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切にしてい、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式X（旧ツイッター）
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
- 町公式ライン
<https://page.line.me/?accountId=ibarakitown>



里山に育む生きものたち

No.141 キツネアザミ
(キク目 キク科)

学名 *Hemisteptia lyrate* (Bunge)
Fisch.et C.A.Mey.

写真・文 安 昌美

▼キツネアザミとは
キツネアザミ属の越年草です。葉を地表に口ゼット状にひろげ、寒い冬を越します。春に茎の節から高さ20cmほどの花序が立ち、花は5月6月で、一見アザミに似た頭花(写真)をつけ、茎に著く葉はアザミより柔らかく、葉の裏は白く、手で握っても痛くありません。

国内では本州、沖縄、台湾、中国、インドネシア、オーストラリアなどに分布が知られていますが、茨城県内でも各地に見られます。都市部よりも里と呼ばれる人家と畑が見られる地域で、農道の端や田畑の畔などに生育しています。町内でもやや普通になり、野帳に記録するようになった。平成7年(野

又)、平成13年(大戸・上石崎)、平成29年(馬渡)があります。米生育地などを考えて、米や麦などの種子を持って日本に渡ってきた人達と一緒に(種子に混じって)持ってきた「史前帰化植物」とされています。

▼キツネアザミという名前は、アザミのようであるが、アザミに騙されたような感じがする。しかし、花の形を化粧道具の眉掃(まゆはき)に見立てて、江戸時代にはキツネノマユハキ、またはマユハキアザミと呼ばれていた。この呼び名からきているという説もあります。

学名の変遷(特に属名アザミ属やトウヒレン属

とされた時代もありました。

▼史前帰化植物
一般に帰化植物とされるのは、江戸時代末期から明治時代以後に日本に入ってきた植物で、栽培されているのではなく、野生状態で生育しているものをいいます。外国産の園芸品種が野生化し、帰化植物とされるものもあります。

一方、非常に古い時代、歴史が記録される以前に、日本に農耕伝来と一緒に入ってきた植物を「史前帰化植物」といいます。キツネアザミは麦栽培に伴う史前帰化植物とされ、稲栽培に伴うものとしては、イヌタデ、クサネム、イヌビエなどがあります。

現在は米や麦の栽培法が昔と異なり、雑草の種類も変化し、減少しています。

ちびっ子アート さくらこども園



「ぼく☆わたし」



こぼり いちぎ(6歳)



うえの なずな(6歳)